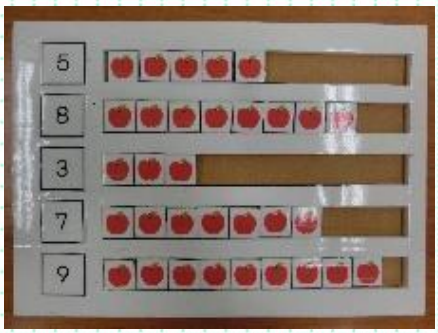
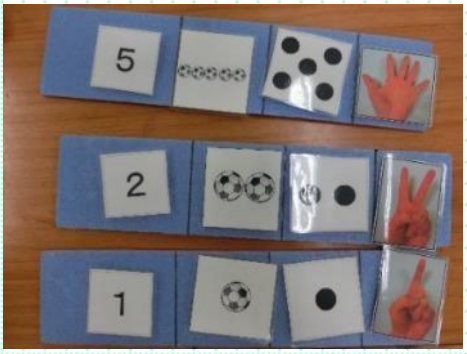
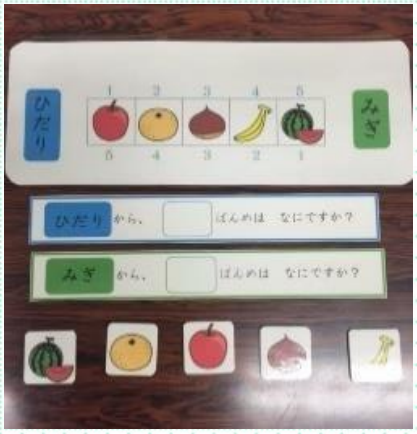
＜かずの教材＞

写真	ねらい	使い方
	・１～１０までの数概念の形成	・１～１０までの数字を見て、数字の数だけリンゴのチップを入れたり、リンゴのチップの数の数字を入れたりする。
	・１～５までの数概念の形成	・数字、半具体物、ドット、指数字カードのマッチングをする。アットランダムにカードを外して正しいカードを貼っていくなどの課題でも使える。
	・お金の位取り	・下段に金額を書き、その位のお金を上の色分けしたところに置いていく。逆の使い方もできる。

	・金額とお金のマッチング	・提示された金額より高い金額のお金を選んで貼る。
	・数字と数量の理解 ・表の理解	・表に数字と果物のイラストを毎回ランダムに貼っておき、答えのカードを貼っていく。台紙を折って、答える課題の数を変えることもできる。
	・数概念の形成 ・数図とブロックのマッチング	・ブロックを数図やビニールの袋のシールの数とマッチングした後、袋の中に入れていく。

	・色の分類 ・色と名詞のマッチング	・イラストを色の仲間ごとに分類し、それぞれのシートに貼る。
	・色と名詞のマッチング	・色チップをそれぞれ色の名詞の書かれたところへ入れる。慣れてきたらボックスを入れ替えて、色の場所を変える。
	・硬貨の名称の理解や、金額の読み取りなどの力の定着を目指したプリント課題	・授業の中で同様の内容を、フラッシュカードを用いて取り組んだり、実際に硬貨を操作しながら金額を読み取ったりする。主に、授業の最後の確認や、家庭学習用に用いる。 ・個の実態に応じて、金種の数や提示方法を変え、スモールステップで取り組む。

	・簡単な金額の読み取りの定着を目指したフラッシュカード	・主に授業の導入で用いる。個々の力に合わせてカードの順番を設定しておく。生徒にとって興味のある物（ここでは店のマーク）も交えて、意欲的に取り組むことができるようにもしてある。
	・金額の読み取りや、指示された金額を出す力を養う	・位取りしたシートを用いて、金額の読み方や、必要な硬貨の出し方を練習する。 ・硬貨は下から順番におく、数字と位を組み合せて読むなど、パターンを決めて取り組む。 ・個々の実態や達成度に応じて、手立てを簡易化したり、問いを複雑にしたりする。
	・〇番目の理解	・指示を理解しやすいように、「右」 「左」の色を変えて提示する。 ・口頭で答えることが難しい生徒には、選択肢のカードを提示する。

	・数字のマッチング	・一人で取り組むためのミニ課題。数字の書かれたシートに、同じく数字が書かれたマグネットを対応させる。